

## 令和2年度 学校教育自己診断結果

### 1. 対象者

		生徒	保護者	教員
R02	提出数	219	67	44
	在籍者数	429	429	46
	提出率	51.0%	15.6%	95.7%

	提出率	45.4%	14.2%	97.8%
R01		51.0%	19.4%	72.7%
H30		50.4%	19.4%	91.5%
H29		39.8%	20.1%	100.0%

### 2. 実施時期

- ① 生徒；令和2年11月11日（木）～27日（金）
- ② 保護者；令和2年11月13日（金）～27日（金）※オンライン回答併用
- ③ 教員；令和2年10月29日（木）～11月4日（水）※オンライン回答のみ

### 3. 評価について

- ① 回答項目の「よくあてはまる」「ややあてはまる」を肯定的評価、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」を否定的評価ととらえ数値化した。
- ② 昨年度との比較を行い、10ポイント以上の増減（☆☆、★★）、10～5ポイントの増減（☆、★）を記号化した。また、肯定率80%以上は水色、50%未満は桃色で網掛けとした。

### 4. アンケート結果

#### ① 生徒

	診断項目	肯定率	昨年度比		R01	H30	H29	H28
1	学校へ行くのが楽しい。	59.8%	6.7%	☆	53.1%	60.6%	86.7%	86.0%
2	この学校には、生徒のニーズにあった特色がある。	89.0%	0.1%		88.9%	89.5%	87.7%	87.3%
3	授業は、わかりやすく楽しい。	81.3%	3.8%		77.5%	69.5%	74.3%	71.8%
4	教え方にさまざまな工夫をしている先生が多い。	87.7%	4.0%		83.7%	76.3%	76.9%	78.2%
5	本校の授業は、あなたの期待に応えることができている	81.3%	4.5%		76.8%	70.9%	74.0%	70.1%
6	ビデオ、スライドなどの視聴覚機器やコンピュータなどを使う授業が多い。	75.3%	0.6%		74.7%	64.0%	60.1%	52.7%
7	授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。	42.5%	-5.7%	★	48.2%	46.4%	40.4%	37.1%
8	学校生活についての先生の指導には納得できる。	85.8%	3.6%		82.2%	79.9%	80.1%	74.5%
9	先生は、いろいろな問題を見逃さず対応してくれる。	81.7%	6.2%	☆	75.5%	70.3%	69.7%	63.2%
10	先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	84.0%	4.6%		79.4%	78.0%	78.6%	
11	生徒のことをよく理解している先生が多い。	83.6%	3.0%		80.6%	76.9%	76.8%	73.8%
12	文化祭や体育祭などの学校行事は、楽しく行えるよう工夫されている。	75.8%	1.5%		74.3%	73.7%	71.6%	66.7%
13	学校は、部活動にも参加しやすいよう工夫している。	64.8%	-5.0%	★	69.8%	64.4%	62.8%	51.6%
14	担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。	61.6%	-10.6%	★★	72.2%	60.8%	64.4%	49.8%
15	学校では、将来の進路や生き方について考える機会がある。	81.3%	-2.9%		84.2%	77.7%	79.9%	70.6%
16	学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。	77.2%	-7.4%	★	84.6%	78.6%	74.8%	69.2%
17	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	79.0%	-6.0%	★	85.0%	77.0%	71.9%	71.4%
18	人権の大切さについて学ぶ機会がある。	83.1%	-2.3%		85.4%	79.7%	79.0%	74.3%
19	学校で地震や火災などの災害がおこった場合、どのような行動をとればよいか、具体的に知らされている。	74.9%	3.4%		71.5%	67.6%	65.7%	55.9%
20	教室・特別教室・運動場などは、授業や生活がしやすいよう整備されている。	84.9%	-0.1%		85.0%	83.1%	80.1%	74.2%
21	学校のホームページやメールマガジンを活用している。	83.6%	12.1%	☆☆	71.5%	66.2%	66.9%	52.3%

## ② 保護者

	診断項目	肯定率	昨年度比		R01	H30	H29	H28
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	56.7%	-5.3%	★	62.0%	61.3%	95.3%	97.3%
2	この学校には、生徒や保護者のニーズにあった特色がある。	98.5%	4.8%		93.7%	98.1%	95.3%	97.3%
3	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	74.6%	1.9%		72.7%	65.1%	79.0%	69.0%
4	学習の内容や進度等を、懇談や通信などによって知ることができる。	74.6%	5.0%	☆	69.6%	80.0%	75.2%	74.1%
5	学校の生徒指導の方針に共感できる。	88.1%	0.9%		87.2%	89.4%	86.7%	86.6%
6	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	83.6%	-5.0%	★	88.6%	90.5%	97.1%	90.3%
7	学校は、いじめについて子どもが困ることがあれば真剣に対応してくれる。	79.1%	-1.7%		80.8%	92.2%	92.2%	
8	先生は子どものことを理解してくれている。	86.6%	4.5%		82.1%	84.0%	85.8%	82.3%
9	文化祭や体育祭等の学校行事は、生徒が楽しく参加できるよう工夫されている。	82.1%	2.4%		79.7%	83.8%	85.7%	73.5%
10	子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。	83.6%	1.3%		82.3%	83.0%	81.1%	79.6%
11	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	86.6%	3.3%		83.3%	85.7%	84.6%	80.5%
12	生徒指導面や進路面で、学校は家庭への連絡や意思疎通を、きめ細かく行っている。	80.6%	7.9%	☆	72.7%	80.0%	76.2%	77.0%
13	学校は、子どもに生命を大切にすると心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	83.6%	-7.4%	★	91.0%	82.9%	78.3%	79.6%
14	学校は、生徒に人権を尊重する意識を育てようとしている。	92.5%	5.3%	☆	87.2%	85.7%	86.7%	87.6%
15	学校は、教育情報について、提供の努力をしている。	92.5%	9.0%	☆	83.5%	84.6%	89.6%	79.6%
16	地震や台風などの場合の対応については、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。	88.1%	7.1%	☆	81.0%	86.8%	69.8%	75.9%
17	学校では、子どもに関する個人情報が守られている。	94.0%	-0.9%		94.9%	94.2%	94.2%	92.9%
18	学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる。	86.6%	5.6%	☆	81.0%	82.7%	81.0%	74.3%
19	学校のホームページやメールマガジンを活用している。	65.7%	-0.1%		65.8%	68.3%	68.6%	74.3%
20	この学校の授業参観や学校行事などに参加したことがある。	22.4%	-24.4%	★★	46.8%	44.8%	36.4%	30.1%
21	P T A 活動には参加しやすい。	13.4%	-10.3%	★★	23.7%	33.7%	29.9%	22.1%

## ③ 教員

	診断項目	肯定率	昨年度比		R01	H30	H29	H28
1	生徒は、桃谷高校に入学してよかったと思っている。	90.9%	4.2%		86.7%	93.8%	88.1%	89.6%
2	この学校は、生徒や保護者のニーズにあった特色がある。	97.7%	2.1%		95.6%	96.9%	95.2%	93.8%
3	わかりやすく楽しい授業を心がけている。	95.5%	-4.5%		100.0%	96.9%	97.6%	95.8%
4	学習指導を、個に応じた観点で工夫して行っている。	86.4%	-6.9%	★	93.3%	90.6%	88.1%	89.6%
5	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	90.9%	4.2%		86.7%	90.6%	85.7%	91.3%
6	家庭連絡をきめ細かく行き生徒指導にいかしている。	86.4%	11.4%	☆☆	75.0%	68.8%	83.3%	80.9%
7	生徒の問題行動がおきた時、組織的に対応できる体制が整っている。	84.1%	1.9%		82.2%	68.8%	76.2%	68.8%
8	この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	93.2%	8.8%	☆	84.4%	71.9%	76.2%	81.3%
9	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	86.4%	6.4%	☆	80.0%	71.9%	76.2%	72.9%
10	学校として、生徒が達成感を得られるよう、部活動の活性化について工夫している。	75.0%	17.2%	☆☆	57.8%	59.4%	54.8%	47.9%
11	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	90.9%	4.2%		86.7%	84.4%	76.2%	81.3%
12	「生きる力」を育み、自らの将来像を描くことができるように系統的なキャリア教育を行っている。	79.5%	15.1%	☆☆	64.4%	62.5%	64.3%	60.4%
13	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	86.4%	-0.3%		86.7%	84.4%	78.6%	79.2%
14	教育活動において、生徒に社会規範を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。	77.3%	8.4%	☆	68.9%	71.9%	61.9%	68.1%
15	人権尊重に関する様々な課題や指導方法について、職員間で話し合っている。	86.4%	10.8%	☆☆	75.6%	59.4%	52.4%	54.2%
16	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。	75.0%	3.9%		71.1%	54.8%	64.3%	43.8%
17	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	90.9%	4.2%		86.7%	81.3%	66.7%	
18	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。	93.2%	13.2%	☆☆	80.0%	68.8%	61.9%	77.1%
19	この学校では、学習や活動がしやすいように施設や設備が整っている。	47.7%	3.3%		44.4%	25.0%	28.6%	27.1%
20	関連機関との連携を深め、教育活動全般に生かしている。	84.1%	13.0%	☆☆	71.1%	75.0%	76.2%	60.4%
21	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	81.8%	4.0%		77.8%	62.5%	76.2%	66.7%
22	学校運営に教職員の意見が反映されている。	65.9%	10.3%	☆☆	55.6%	25.0%	54.8%	45.8%
23	各分掌の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	79.5%	-0.5%		80.0%	56.3%	78.6%	50.0%
24	職員会議をはじめ各種会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能している。	72.7%	21.6%	☆☆	51.1%	40.6%	52.4%	39.6%
25	この職場においては、教職員の服務規律への自覚が高い。	86.4%	8.6%	☆	77.8%	78.1%	81.0%	68.8%
26	校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。	84.1%	-2.7%		86.8%	64.5%	73.8%	72.9%
27	全体として、初任者を育てる体制ができています。	79.5%	5.8%	☆	73.7%	74.2%	73.8%	
28	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	81.8%	5.5%	☆	76.3%	80.6%		

## 5. 考察

### ① 生徒

・前期 4~5 月は長期にわたる臨時休校もあり、本校の教育活動に対する評価は大幅に下落する懸念があったが、回答結果は例年とほぼ同じ水準となった。また肯定率 80%以上の項目も 6 割近くとなった。全体としては臨時休校期間の生徒に対するケアやフォロー、授業再開後の担任や教科担当の手厚い指導、および生徒自身の学業に前向きに取り組もうとする姿勢の表れであると考ええる。

・診断項目 1 については、平成 29 年度までは「桃谷高校に入学してよかった」としており、項目設定（ニュアンス）の変化が大きな差となって表れているが、今年度は昨年度より 6.7 ポイント上昇している。臨時休業が長期に及んだため、学校再開を肯定的に受け止める作用が働いたのではないかと考える。

・診断項目 7・16・17 については、2 か月の臨時休業期間やその後の感染症対策が影響しているものと思われる。

・診断項目 14 については、10 ポイント以上の低下となった。年度始まりが長期の臨時休校となったため、教職員との関係を円滑に構築できなかった生徒が一定数いることが推察される。今後、この点には十分留意し、教職員をあげて生徒の支援体制を再度整え、生徒が相談しやすい環境づくりに努めたい。

・診断項目 21 については、臨時休校期間を中心に様々な連絡がメールマガジンやホームページを通じてなされていたことが要因として認められる。しかしながら、メールマガジンの登録率は依然低く、ネット環境が整っていない生徒も見受けられる。今後、メールマガジンの G-Suite への移行も念頭に置きながら、連絡体制の整備に努めたい。

### ② 保護者

・回答結果は例年とほぼ同じ水準となり、学校と家庭との連携についての項目は上昇傾向を示している。また肯定率 80%以上の項目も 6 割を超え、一定本校の教育活動に保護者の理解が得られていることを示していると考ええる。

・診断項目 6 および 13 について昨年度より 5~7 ポイントほど低下している。肯定率そのものは比較的高いが、次年度の学校運営を考えるにあたり、これらの項目の下落は注目すべきポイントと考える。これらの項目の数値が低下した要因を関係部署で分析したうえで、教職員にも課題意識を共有し、なるべく早期に必要なと思われる対策をとっていききたい。

・診断項目 20 および 21 については、感染症対策に基づいた行事の削減・縮小等があったため、数値の下降はやむを得ないと考ええる。次年度も同様の状況が続く前提で、新たな保護者の行事参加の在り方を模索していききたい。

### ③ 教員

- ・回答結果は、肯定率が 28 項目中のうち 23 項目で前年度を上回った（うち 10 ポイント以上の上昇が 28%、10～5 ポイントの上昇が 21%）。肯定率 80%以上の項目も 7 割を超えており、概ね良好な水準であると考ええる。
- ・診断項目 3・4 および 26 のポイントの低下については、特に前期の臨時休業による影響が見られる。学習指導については、普段から緊急時の体制（オンライン授業など）を整備しておくように努めたい。校内研修については、日程の見直しや研修内容の精査、目的やねらいに応じた研修方法の設定などを計画的に行っていきたい。
- ・家庭連携の項目（6・28）については、臨時休校中特に綿密な家庭連絡を必要としたことから、普段以上の上昇が認められた。
- ・機関連携（20）については、生徒の減少と相反してそのニーズが本年度は高まっている。支援検討委員会や総括担任、養護教諭等が中心となって例年以上に機会を設けている結果の証左である。
- ・本校が従来大切にしてきた、個に応じた指導に係る項目はほぼすべてがポイントを上昇させている。
- ・かねてからの懸案であった学校運営、会議運営の面での肯定的評価が、本年度は非常に高い伸び率を示した。新型コロナウイルス対応等で、前期当初より教職員が一丸となって取り組みを進めてきたことや、前年度までの反省を踏まえた運営方針が評価されたのことで考える。しかしながら全体数値は他項目と比べて依然低い値にあるので、今後とも鋭意改善に努めたい。
- ・生徒の評価とのずれが顕著な項目が数点見られた。要因を関係各所で分析し次年度の経営計画に反映させたい。